

日経平均株価の銘柄定期入れ替え等について

日本経済新聞社は、日経平均株価の構成銘柄について、以下のとおり定期入れ替えを実施します。今月下旬に持ち株会社化による一部構成銘柄の上場廃止が予定されており、これらを織り込んで見直しを行います。

また、日経平均株価の一部構成銘柄が実施を予定している株式分割に対する算出上の取り扱いを以下のとおりとします。

なお、今回の定期入れ替えから、2022年7月27日付「日経平均株価の算出要領および構成銘柄選定基準の改定について」で公表した改定を適用して実施します。

1. 定期見直し等による銘柄入れ替えについて

実施日	コード	採用銘柄	コード	除外銘柄
9月29日	6594	日本電産 (0.8)	8355	静岡銀行
10月3日	6273	SMC (0.1)	3103	ユニチカ
	7741	HOYA (0.5)	6703	OKI
10月4日	5831	しずおかフィナンシャルグループ (1)	1333	マルハニチロ

注) 採用銘柄のカッコ内は採用時の株価換算係数。

静岡銀行は持ち株会社設立により上場廃止となるため、9月29日から除外します。一方、新設のしずおかフィナンシャルグループを新規上場翌日から採用します。

また、定期見直し基準に照らし、市場流動性の観点から日本電産(セクター・技術)、SMC(同・資本財その他)、HOYA(同・技術)を採用し、ユニチカ(同・素材)、OKI(同・技術)、マルハニチロ(同・消費)を除外します。銘柄は9月29日から10月4日にかけて、3回に分けて入れ替えます。

注) セクター：日経業種分類(36分類)を、技術、金融、消費、素材、資本財・その他、運輸・公共の6つに集約したもの。

## 2. 株式分割の取り扱いについて

次の4銘柄が実施を予定する株式分割に対しては、それぞれの分割比率に合わせて、9月29日の算出から、株価換算係数を変更します。

指数算出に用いる株価の水準が株式分割の前後で変わらないように、当該銘柄の株価換算係数で調整するものです。

コード	対象銘柄	分割	現株価換算係数	新株価換算係数
7974	任天堂	1 : 10 分割	0.1	1
8766	東京海上ホールディングス	1 : 3 分割	0.5	1.5
9101	日本郵船	1 : 3 分割	0.1	0.3
9107	川崎汽船	1 : 3 分割	0.1	0.3

以上